



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年7月10日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



論点

これからどうする岸田政権

15日(金)＝オピニオン面



7月10日投開票の参院選後、岸田文雄政権は大きな国政テーマに取り組むこととなります。当面は大型の選挙が予定されておらず、憲法改正や外交安全保障政策などの長期的な課題への向き合い方が焦点となりそ

うです。いずれも気鋭の専門家として知られる憲法学者の木村草太・東京都立大教授＝写真左＝と、国際政治学者の神保謙・慶応大教授＝写真右＝にそれぞれ今後の展望や提言などをインタビューしました。



急速に高齢化するタイ 日本の経験に学べ

14日(木)＝4面

若いイメージのある東南アジアですが、実は速いペースで高齢化が進んでいる国が少なくありません。今後、介護や医療の問題に直面する国々にとって、既に高齢社会に突入した日本の経験は大きなヒン

トになると言われています。技術とアイデアを武器に、海外進出に挑む日本企業もあります。タイ北部チェンマイを舞台に、日本の支援で進む高齢者ケアの現場を記者が訪ねました。



家族に見守られながらリハビリに取り組む85歳の女性(左)＝タイ北部チェンマイで6月10日



10日投開票の参院選の結果について、11日朝刊紙面でたっぷりお届けします。岸田政権は改選69議席を維持できるのか？憲法改正に前



参院選 開票結果は

11日(月)＝1、3面

向きな自民、公明、日本維新の会、国民民主の「改憲4党」が改憲発議に必要な三分の二以上の議席を得られるのか？選

特集ワイド ウクライナ侵攻で話題の映画「ドンバス」

11日(月)＝夕刊特集ワイド



ウクライナ東部のドンバス地方を舞台にした映画「ドンバス」(2018年)の上映が全国各地に広がっています。4年前は日本未公開

でしたが、5月に緊急公開されました。ウクライナ育ちの鬼才、セルゲイ・ロズニツァ監督が、戦闘や暴力、汚職がはびこる日常を皮肉を込めて

描き出しています。近現代ロシア史を専門とする東京大准教授の池田嘉郎さん＝写真＝に、この映画が問い掛けるメッセージについて聞きました。

新毎日



(小野田香織)

第93回都市対抗野球大会が18日に開幕します。3年ぶりに「真夏の球宴」が復活することを受け、大会を主催する毎日新聞社は開幕前夜の17日(日)、オンラインイベント「ドームを制するのはどこだ!？」を開きます。タレントの上田まりえさんらが都市対抗への熱い思いを語り、大会を展望します。ぜひご参加ください！お申し込みはQRコードからどうぞ。

